

「稼ぐ地域」を観光で。

観光地を経営する。館山と南房総、共に歩む。

観光マーケットを同じくする南房総エリア。今、館山市と南房総市の観光協会では、総務省の「定住自立圏構想」事業の一環として、「館山市・南房総市定住自立圏の形成協定」を結んでおり、観光の事業やPRを協力して、推進中。お隣同士で、観光客は両方の街を行きあっている。そこで、産業としてどのような目標、目的を持って推進していくかという研修も共同で実施。

12月には、観光カリスマで「観光立国の正体」の著書を持つ、スイス・ツェルマット観光局で活躍中の「山田桂郎」氏を迎えての研修会を行った。これも、館山市観光協会の観光推進プロジェクトチーム、南房総観光プロモーション協議会のメンバーと合同で、観光産業、観光推進のテクニクに関係するセミナーを受講。



セミナーのポイント

「稼ぐ地域になる」「観光で稼ぐ」

人口減少時代により、館山・南房総地域も、この先15年後には1万5千人程度の人口減少が考えられ、およそ150億円から200億円が地域から「消失」されていくことになる。

そこで、観光だ。観光でおいでになる方々に、もっと楽しいプログラム、もっと楽しい南房総を体験していただき、「消費額」を上げていこう、という考えにより「稼ぐ地域」になる、という考え方。

ンバーなど、広く観光に携わる参加者となり、両市が共に同じ場面で話を聞くこと、広い関係者が観光産業の裾野の広がりを感ずる価値ある研修会となった。

観光目的の商品を作る!?

観光の方は、「何を目的に」南房総にやってくるのか?旅の目的は、ここ数年、コロナ禍によりながらも、全国の調査によると1位は「グルメ、土地の美味しいものを食べる」。2位は、「宿・温泉施設でゆっくりすること」で、この2つの目的は、最大の目的といえる。

「ご当地、南房総地域はどうだろう?首都圏から近い、ドライブとして便利な立地もあって、多くの観光客がおいでになっているが、もちろん、グルメ、宿の楽しみを目的にしているが調査からすると「なんとなく」という空気感に触れにくる観光客が非常に多い地域だということがわかってきている。

だから、観光の消費額を上げるには、「これをしよう。だから南房総に行こう」という「目的」となる商品や観光メニューがより必要となる。

「冬のいちご」は南房総の定番メニュー!

共通PR!



いちご狩りはもちろん、冬になると、いちごを使ったスイーツやデザートを用意している飲食店舗が数多くある当地、南房総。館山だけ、南房総だけ、で売るのはもったいないと、両市の情報を集約した「いちごスイーツパンフレット」を発行地域外だけでなく、地域内にも配布して、このエリアに「なんとなく」来た方にも、「今、いちごのシーズンで、こんなに色々なスイーツがあるんだね」と知ってもらおうという試みに、挑戦中。

もっと「ペットと楽しむ旅」を南房総で。



当地でも、旅に愛犬と一緒にされる方を多く見かけるようになってきました。首都圏から近い立地が「ペットとの旅」を望む傾向があるようです。

館山・南房総では、両観光協会

で共同してペットと泊まれる宿泊施設、飲食店や遊び場を紹介する案内パンフレットを作成中。まだまだ遊び場を紹介、提供できれば、「ペット旅」もさらに充実することを願うこと。



館山・南房総 共同で情報発信

LINEで 友だちになろう! enjoy-boso



館山 ファンクラブ

観光情報 Twitter

一般社団法人 館山市観光協会

◆観光案内所 (JR館山駅東口) 〒294-0045 館山市北条1879-2 ☎0470-22-2000

館山市市観光協会 検索

『公式』南房総市 YouTube 観光協会ちゃんねる



公式 インスタグラム enjoyboso



一般社団法人 南房総市観光協会

◆南房総市観光インフォメーションセンター 〒299-2403 南房総市富浦町原岡89-3 ☎0470-28-5307

南房総市観光協会 検索